



入館無料
(特別展は有料)



COCOFURU NEWS PLUS
ココふるニュース+



申し込みと
問い合わせ先

心のふるさと館 [〒816-0934 曙町3-8-3]

●休館日 月曜日 (祝日の場合は翌平日) ●開館時間 午前9時~午後7時

ココふるあけおめ2025 「お正月あそびクイズに挑戦！」

イベントに参加して気軽に「AR」を体験しよう。

1階フロアで4つのパネルを探し、タブレットをかざすとお正月遊びの写りが浮き出てきます。写真を見て、解答用紙に答えを記入します。その後、3階ふるさとラボでお正月遊びを見たり、実際に体験し、気になったお正月遊びの名前を解答用紙に記入します。全て終わると景品がもらえます。

●日時 1月5日(日)~13日(祝・月) 午前9時~午後6時

●会場 心のふるさと館1階 フロア、3階 ふるさとラボ
※タブレットは総合案内で貸し出します。貸し出しには、本人確認できるものが必要です。(小学生以下は不要)



大野城市
PRキャラクター
大野ジョー

大野城市
イメージ
キャラクター
まどかちゃん

革の絵画展

「障害者週間」(毎年12月3日~9日)に合わせ、身体障がいを持ちながらも前向きな人生を歩む革細工アーティスト「藤野高嗣」氏(大野城市出身)の作品を展示します。片手で手掛ける温かみのある作品を通して、心安らぐ癒やしの時間を過ごしませんか。



●日時 12月3日(火)~令和7年1月5日(日) 午前9時~午後7時

心のふるさと館ミュージアム担当

☎(558)5000 ☎(558)2207

✉cocofuru@city.onojo.fukuoka.jp

あけてみよう!

歴史のとびら

183

大野城心のふるさと館のおすすめ⑫

全国屈指の新羅土器の出土数

【古代の朝鮮半島と日本の関係】

日本列島で古墳が盛んにつくられた3世紀から7世紀、朝鮮半島では高句麗・新羅・百済の3つの国が競い合う「三国時代」を迎えていました。このうち、日本(倭)は百済と友好関係にあり、新羅とは常に敵対し合う関係でした。ところが、大野城市の古墳では、仮想敵国である新羅の土器がたくさん見つかり、その数は全国屈指を誇ります。

【新羅土器とは】

新羅土器とは、現在の韓国・慶州に都が置かれた「新羅」で作られた土器のことです。土器の表面をスタンプなどを使用して装飾することが大きな特徴です。日本では、古代に都が置かれた奈良県や、吉岐・対馬をはじめとする九州北部で多く見つかり、新羅土器の存在は日本と新羅との交流を語る資料として非常に重要といえます。

【新羅と大野城市の関係】

いったいなぜ大野城市には新羅土器がたくさんあるのでしょうか。実は、大野城市東部の乙金地区では、6・7世紀に新羅から渡ってきた渡来人が住んでいたことが分かっています。渡来人たちは地

元の人々と共存しながら、地域の開発や土器づくり・鉄器づくりなどで活躍したと考えられています。彼・彼女たちが、故郷である新羅と継続的に交流・往来した結果、大野城市にたくさん新羅土器が持つてこられた可能性がります。

大野城市で見つかった新羅土器の多くが、容器である「壺」であることから、新羅特産のお酒や高麗人参などを粉末状にした薬品を入れて持つてこられたのかもしれない。

心のふるさと館では、「発掘された日本列島」展を開催する予定で、大野城市出土の新羅土器も展示します。全国津々浦々の遺跡で出土した一級品たちを観覧できるまたとない機会です。年明けは、心のふるさと館に、ぜひ来館してください。



大野城市出土の新羅土器

発掘された日本列島展

●会期 1月5日(日)~2月16日(日)

問い合わせ先

心のふるさと館ミュージアム
担当 ☎(558)5000